

2023年(令和5年)4月19日(水) 第37回例会(通算2973回)



国際ロータリー第2580地区
石垣ロータリークラブ

2022-23年度 ◆クラブ会長テーマ◆ 「八重山の未来のために行動しよう」



**IMAGINE
ROTARY**

イマジンロータリー

2022-23年度 RI 会長テーマ
RI 会長：ジェニファーE. ジョーン

地区ガバナー：嶋村 文男
◇ ガバナー信条 ◇

“Take Action for Rotary Future”
“Reach Out for World Peace”
“ロータリーの未来のために行動しよう”
“世界の平和のために手を差しのべよう”

今月のロータリーレート 1\$¥133

島の水景 ～石垣島の水散策～

【名蔵ダム】

年間降雨量が2,000mmを上回る雨の多い石垣島ですが、台風などの時期にかたよることで干ばつに悩まされてきました。於茂登岳の南方に位置する名蔵ダムは1971年の大干ばつを機に灌漑施設として建設されました。普段はひっそりとしたダム周辺も、毎年7月には石垣島ダムまつりが開催され、多くの人を訪れます。



4月のプログラム 4/19(水)ゲスト卓話 4/26(水)ゲスト卓話

ガバナー補佐：仁開 一夫 会長：大浜 勇人 副会長：前原 博一
幹事：松田 新一郎 副幹事：今西 敦之
公共イメージ委員長：山下 暢 SAA・出席委員長：大本 綾子

例会日 水曜日 12:30～13:30
事務局 〒907-0013 石垣市浜崎町 1-1-4
URL <http://ishigaki-rotary.jimdo.com>

例会場 アートホテル石垣島(0980)83-3311
TEL/FAX(0980)83-2917
E-mail ishiroatary@ninus.ocn.ne.jp

☆総会員数：54名（名誉会員2名・出席免除会員2名）
 ☆出席義務会員数：50名
 ☆出席人数：31名 欠席人数：19名 出席率：62.00%
 ≪司会進行：大島盛幸・大本綾子≫
 ☆ロータリーソング：手に手つないで ロータリーの目的
 ☆ソングリーダー：西村剛志
 ☆メークアップ：仁開一夫 新川正人 南波正幸
 森田安高

会長挨拶
大浜 勇人



先週、宮古島沖でヘリコプターの事故でまだ発見されていないということに心を痛めているところでございます。いち早く、発見されることを願うと共に、残されたご遺族のことを考えると胸が締め付けられる思いでございます。お悔やみを申し上げたいと思います。それでは5月に入りますと、宮古島RCとの合同例会を控えております。金曜日ですので、たくさんの皆さんで宮古島を訪れて交流を深められればと思っておりますので、ぜひ時間を空けて頂ければと思っております。先ほど、幹事からもありましたように6/16(金)は合同例会です。我が石垣RCから初めての仁開ガバナー補佐を出しております。仁開ガバナー補佐の主催でございますので、ぜひ沢山の会員でその場を盛り上げて頂ければと思っておりますので、宜しくお願い致します。今年度の地区大会の記録の冊子には写真が沢山の載っていて私も載っていました。一番素晴らしいのは、76ページにある関場さんは、2830地区のバスターガバナーです。「ポリオとロータリーと私」という卓話を覚えております。実は、関場さんとは、嶋村ガバナーに連れて行ってもらったインドのポリオの事業の時に関場さんもうらっしゃいました。ポリオに対する想いと情熱をヒンヒンと感ずることができました。次年度は、例年の年明け2月の地区大会になるのかなと思っておりますが、また沢山の会員で地区大会を盛り上げていけたらと考えております。本日は、石川会員の卓話です。楽しみにしております。よろしくお願ひいたします。

☆ 幹事報告・松田 新一郎 ☆

地区納め会(4つのF賞表彰式)のご案内です。日時は、6/27(火)ホテル椿山荘東京にて開催されます。4つのF賞エントリーを本日行いたいと思っておりますので、ご参加の方は事務局までお願い致します。いよいよ私共石垣RCがホストクラブを務めることとなります「合同例会」が那覇の地で開催されます。私共がホストとなりますので、多数の参加をお願いいたします。また、仁開ガバナー補佐の労をねぎらう会で

もでございます。6/16(金)ホテルコレクティブで開催されますので、宜しくお願い致します。

☆ 会員・委員会からの報告 ☆

今西敦之副幹事：先週、4/7に開催しました第3回前原年度のアッセンブリにつきまして、多数の次年度の役員・理事、そして委員長・委員にご出席賜りまして、改めまして御礼申し上げます。その際、今年度の12月の中旬あたりに3,000回の節目の例会を迎えることになりました。その3,000回を記念例会として開催をしたいという趣旨の旨がございまして、今後、黒島剛プログラム委員長のもと、随時組み立てていながら会員の皆さんにご報告させていただきます。明後日、東京の椿山荘で開催されます地区研修協議会でございますが、14時よりスタートとなりまして8名で出席して参ります。

☆ 会員卓話：石川 尚吾 氏 ☆

(株)沖繩ダイケン八重山支店 支店長

☆テーマ☆ ビルメンテナンスと近い未来へ

今日は、卓話という貴重な時間をありがとうございます。先週、東京に行ってきました。ビルがない会社、ビルを使わない会社、会社がない会社、というのがいくつかありまして、仮想空間に会社を作っているという形のビルメンテナンスは、ビルを管理する会社ですので、近い未来は遠い未来かもしれない、もしかしたらビルがない社会にだんだん出来て来るのかなと思っております。自己紹介：株式会社沖繩ダイケンというビルメンテナンスの会社に勤めております。1976年、東京で生まれました。大学を卒業後、福祉施設の方で働いておりました。平成19年5月に思うことがあり、石垣島へ移住して参りました。初めて沖繩に来て、ビルメンテナンスの会社に入りましたが、最初は客室の清掃の責任者という形で仕事を始めました。最初にベトナムから入るんですが、当時アートホテル石垣島さんの方で毎日ベトナムメイクをしておりました。そこから客室の責任者になって総務、経理を異動しまして、現在は支店長という形で勤務しております。ビルメンテナンスはどういう会社？、最近話題のチャットGPT、AIがありますが、ビルメンテナンスとは？と聞いてみました。「ビルメンテナンスとは、建物の維持管理を指します。具体的には、清掃、修繕、施設の保守、設備の点検・修理、防災対策など行う業務」とチャットGPTは答えてくれました。長期的に建物をいい状態に保って、利用者が快適に過ごせる環境を維持することになりますが「ビル管理会社やビルメンテナンスを業者に依頼することが一般的で、専門的な技術や知識が必要とされるため、専門業者に依頼することが望ましい」と、ちゃんとCMまで入れてくれ

るという素晴らしいチャット GPT と思いました。ビルメンテナンスとは、ということを説明する時には、チャット GPT と一緒なんですが、基本的には、利用者の利便性や快適性を維持することと、不動産としての価値を保全することはチャット GPT にはなかったですけど、もう一つは不動産としての価値の維持です。建物は建った時から、時間が経つことに価値は下がってくるのを、なるべくその価値を落とさないように修繕して、価格を上げていくという形の業務もビルメンテナンスに含まれています。具体的な業務は「衛星管理業務」「設備管理業務」「警備・防災業務」「建物・設備保全業務」の 4 つがあります。ビルメンテナンスと聞くと、イコールお掃除のイメージが強いかもしれませんが、弊社だけでいうと、お掃除の部門は全体の 40%、残りの 60%は設備業務だったり、維持管理業務がメインになっております。ビルメンテナンスの未来。今後どうなっていくか、ビルメンテナンス市場動向としては、日本の景気と連動して、成長率は増大や現象、横ばいなどを繰り返す産業。2009 年からは右肩上がりに成長している産業。しかし近年、他の業者さんも人手不足なんですけど、ビルメンテナンスは、労働集約型の労働モデルからの改革が必須であると言える産業であります。人手に依存していた業務の機械化や自動化が進めば、近い将来人材不足もカバーされることが期待され、従来にはないサービスの提供や技術者の雇用を生む可能性を持っています。どの業種さんも共通することですが、人手不足をテーマにしまして、ビルメンテナンスでは二つやっております。一つは、ロボット・AI・IoT 機械や自動化がだいぶ進んでおります。あとは、働く人の環境、働き方改革、ワークライフ・バランスの 2 本を進めていかないと、この先生き残れていけないという形で進めています。沖縄ダイケンでの取り組み。有給取得の推進、フレックスタイム、ノー残業デー、育児休暇取得指針、再雇用制度とか、どの会社さんも取り組んでいるとこともありますが、それをうちでもやろうと 3 年ぐらい前から取り組んでいます。実際どうかというと、仕組みや制度、ルールを作ったが、あまり効果は見られない、制度は作るけど、周囲の理解が得られない、結果、失敗に終わったのではないかなと思っています。どうして失敗に終わったのかなと考えると、人手不足だから働き方改革をやろうと、制度だけを取り入れました。長時間労働の是正だったり、働きやすい環境、有給取得という形で、ビルメンテナンスという業界が、どういう課題を持っていたのだからと、あまり分析せずに、世の中がやっているから取り入れてしまって結果、目的ではなくて、やり方だけを取り入れてしまって、失敗に終わったのかなと思っています。目的は、従業員が働きやすいワークライフ・バランス

とか、魅力ある会社になるためには、何をしなきゃいけないか、という形ですべきだった事を、目的を達成するためを目指すのではなくて、やり方を達成することを目標としてしまったのが失敗だったと思います。八重山青年会議所で、さんざん手法の目的を勉強させてもらったのですが、実際やるとなると失敗して、手法の達成に陥ってしまいました。手法の達成って分りづらいいと思いますけど、例えば背景に意味の解らない言葉があったとすると、目的としては言葉の意味を知りたいとなると、知る方法としては辞書で調べる、知っている人に聞くとかグーグルで検索するとか、いくつかのやり方はありますが、この場合、辞書で調べるというやり方をとると、調べて意味が分かったという形で目標達成になる。わからない言葉は、辞書で調べる習慣をつけたいので、調べたところに付箋を貼る。結果どうなるかというのと、人より多く付箋紙を貼ると、言葉の意味を知るためではなくて、付箋紙を貼ることが目的に変わっています。目的は何か、手法の達成ではなくて、目的を達成するための使命を持たないといけない、というのを改めて感じました。そこで改めて、働き方改革の目的ってなんだろう。インターネットや人に聞いて調べたところ、結果的に国の目的としては、少子化対策つまり、日本の総人口を増やすことなのではという事にたどり着きました。1990 年代の半ばから日本は支えられる側が支える側が多い、人口ボーナス期に入っていますので、今後更に労働人口が減っていきます。経済は縮小傾向になりつつ、社会の保証制度の方はどんどん膨らんでいくという形になっています。人口ボーナス期に入ると働く人は減って、逆に支えられる人が多くなる、社会全体が扶養負担になって、社会保障制度が保っていくのが難しくなっていくというのが、この先は確実に来るよとなっています。働き方に対して、考え方を変えていかなきゃいけないとなりました。今まで人口ボーナス期、僕らが子供の頃の考え方ですと、基本的には男性ばかりが働いた方が良く、重工業の比率が高く、筋力・体力が多い方が適している業務が多かった。長時間働いた方が良く、早く、安く、大量に作って勝つためには、投資した時間が成果に直結する。同条件の人を揃えた方が良く、均一なものを沢山提供できることで、市場ニーズを満たせるという形になっていたのが、今現在は、人口オナーズ期だと、多様な価値観をフル活用しないと働く人が少なくなっていく。諸外国の人件費が高くなっていますので、短時間で成果を上げないといけない。様々な市場のニーズが多種多様化していますので、それに合わせていろんなニーズに応えていかなきゃいけないので、働き方を変えていかなきゃいけない。つまり価値観を変えていかなきゃいけないという形になりました。平均寿命

が戦後直後から 70 年間で 50 歳から 80 歳になり 30 歳伸びています。社会でいま取り組んでいるのが、未来を見据えて価値観を変えていかないといけない。例えば、スピード感、世界の 5,000 万人に普及するのにかかった年数、飛行機は約 70 年間、テレビだと 20 年間、最近の Twitter や Facebook はもう 5 年かからずに 5,000 万人の人が利用するようになっていっていますので、一つの技術革新とかがあつという間に広がって行く。もう一つは使用対象、私たちの価値観で紙おむつは誰が使うの? となると赤ちゃんだと思っていたんですが、今現在では大人の方が使用、売上の規模が大きくなっています。あとは平均年齢、70 年間で 30 歳伸びていますので、年齢的な価値観を変えていかないと仕組みとして上手くいかないなと思っています。もう 1 点取り組んでいますのが、課題と目的の明確化。問題としては、社員が疲弊して

いる、離職、人材流出、そして人手不足があると思いますが、なんで? と考えると会社ごとにその原因が違ったりします。人が辞めていくのは介護だったり、育児で辞めていくのか、会社の賃金が安いからなのか、何年働いても同じ給料で評価されない、というのが原因なのか、会社ごとに違います。問題は、人がいなくなるのが一緒でも、原因が違ったりすると、その多様さが変わってくるので、合わせた対応策をしないと、なかなかマッチした解決する取り組みにならない。自社も辞めていったりするので、何が原因なんだろうと、いま突き詰めてやっております。自分たちの課題を明確にした上で、どういった働き方改革があるのか、主に 3 点があります。「働いている人が辞めない方法」と「働いていない人が働ける方法」あとは少しでも「少ない労働力でも生産量上げる方法」この 3 つに取り組んでいます。ご清聴ありがとうございました。

～ 例 会 風 景 ～



本日のニコニコ: ☆大浜勇人氏: 石川さん、卓話ありがとうございました。

☆上勢頭保氏: 石川君の卓話に感謝。☆今西敦之: 第 3 回アッセンブリ 多数の会員ご出席ありがとうございました。

☆松田新一郎氏: 石川さん、本日はありがとうございました。☆垣本徳一氏: 石川尚吾さん 卓話ありがとうございました。

☆新里裕樹氏: 石川さん 卓話ありがとうございました。

◆BOX ¥6,000 (累計 ¥311,000) ◆コイン ¥1,116 (累計 ¥21,735) 合計 ¥332,735

4月

新里裕樹氏 1 日 (土) 新賢次氏 2 日 (日) 大城文博氏 25 日 (火)
新川正人氏 25 日 (火) 大本綾子氏 28 日 (金)

